

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 27 年 11 月 9 日

計画の名称	1 秩父市憩いのある都市公園の整備														
計画の期間	平成23年度 ～ 平成26年度 (4年間)				交付対象	秩父市									
計画の目標	<p>本市の都市公園等の整備も目標として、多くの市民や観光客が楽しめるレクリエーションの場や自然景観と調和の取れた公園整備を進めることで、より憩いある都市公園を住民に提供できるようにするため、既存の公園の整備拡充と住区基幹公園等を中心に整備を進める。</p>														
計画の成果目標 (定量的指標)	<p>・ 秩父市の1人あたりの都市公園面積の向上 17.45m<sup>2</sup>/人(H22当初) → 17.75m<sup>2</sup>/人(H26完了)</p>														
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考					
							当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	公園開設面積(計画時) (H22 942,500m <sup>2</sup> ) (H26 958,500m <sup>2</sup> ) 都市計画区域内人口(計画時) (H22・26 54,000人)					
	1人あたりの都市公園面積(m <sup>2</sup> /人) = 市営都市公園開設面積(m <sup>2</sup> ) / 都市計画区域内人口(人)						17.45m <sup>2</sup> /人	-	17.75m <sup>2</sup> /人						
全体事業費	合計 (A+B+C)	79.54百万円	A	70.62百万円	B	0百万円	C	8.92百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	11.2%					
事後評価 (中間評価)															
○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期															
事後評価 (中間評価) の実施体制						事後評価 (中間評価) の実施時期									
秩父市ホームページに掲載して公表し事業を終了する。						計画終了年度後、速やかに行なう。									
						公表の方法									
						秩父市都市計画課ホームページに掲載する。									
1. 交付対象事業の進捗状況															
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	公園	一般	秩父市	直接	秩父市	都市公園事業 (羊山公園)	用地買収面積 5,988m <sup>2</sup>	秩父市						70.62	
1-A1-2	公園	一般	秩父市	直接	秩父市	都市公園事業 (聖地公園)	-								未実施
合計													70.62		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

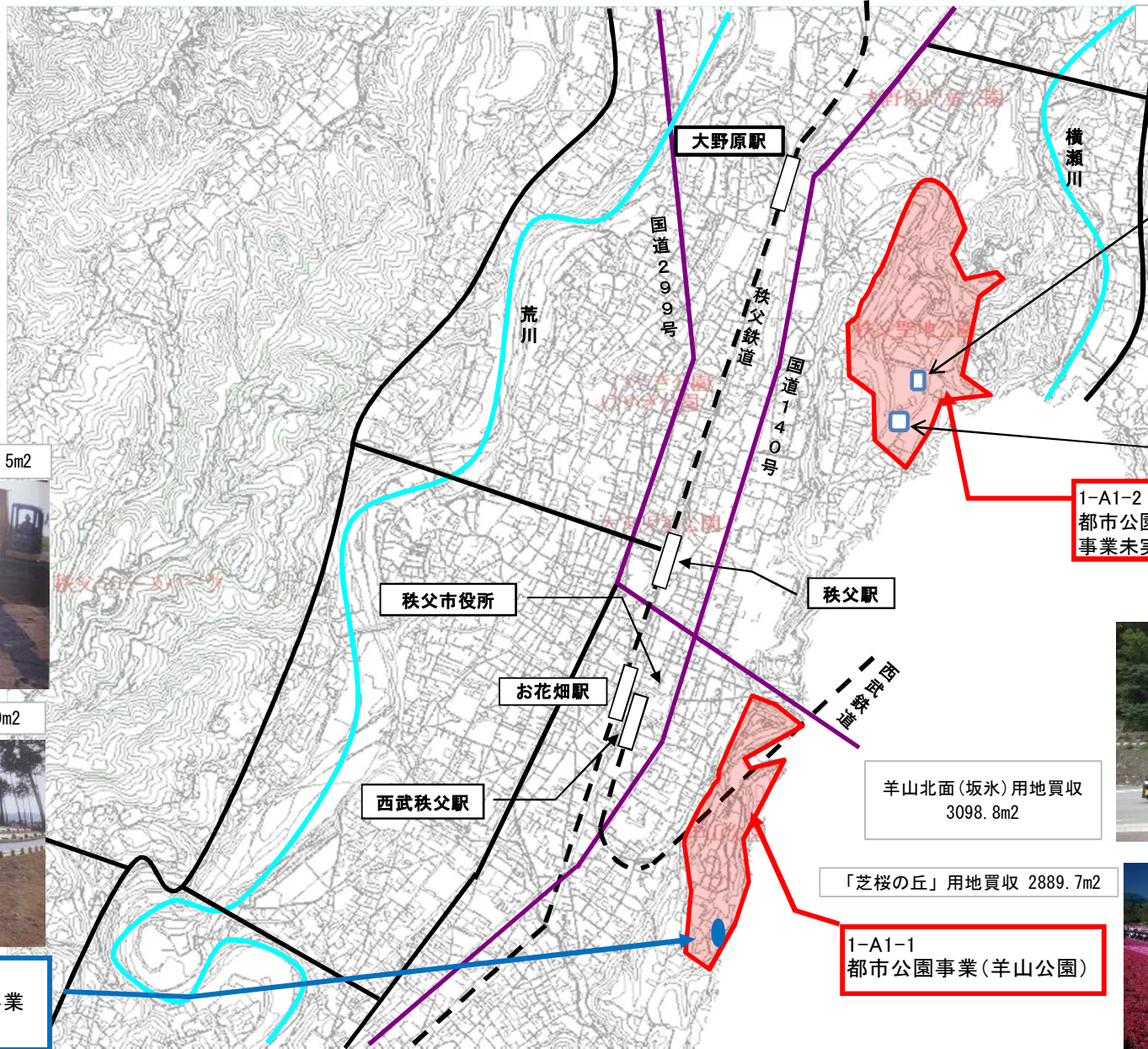
C 効果促進事業										全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)						
									H22			H23	H24	H25	H26
1-C1-1	秩父市	一般	秩父市	直接	秩父市	羊山公園芝桜の丘整備事業(維持管理)	芝桜土壌改良 2191.5m2 園路広場整備 1339m2	秩父市						8.92	
合計												8.92			
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-C1-1	羊山公園内施設の一つである芝桜の丘について、芝桜の土壌改良を行い連作障害の解消を図ることで開花を促進するとともに、園路整備による安全で魅力的な公園環境を提供する。														

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況					
II 定量的指標の達成状況	指標①(市民1人あたりの公園面積向上)	最終目標値	17.75m <sup>2</sup> /人	目標値と実績値に差が出た要因	上記の状況により、新規に公園区域を開設するに至らなかったが、当市の人口が減少傾向にあり、平成26年度末都市公園開設面積 942,500(m <sup>2</sup> ) / 平成26年末都市計画区域内人口 52,000(人) = 1人あたり公園面積 18.13 (m <sup>2</sup> /人) となり、目標値を上回る結果となった。これを踏まえ、今後設定指標については十分な検討を行なう。
		最終実績値	18.13m <sup>2</sup> /人		
	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因		
	最終実績値				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
羊山公園「芝桜の丘」は、平成14年の開園以来来園者が増加し、春の秩父路を代表する観光スポットに成長したが、連作障害と思われる病害が発生し、開花状況が芳しくないなど、平成19年の100万人をピークに来園者が減少してきた。そこで、より魅力的な公園を目指した維持管理として、植栽地の土壌改良や植え替え、来園者の安全確保と利便性向上のため園路の改修を実施したことで、来園者に喜んでいただいている。					
3. 特記事項(今後の方針等)					
羊山公園については、懸案となっていた用地買収も一段落したが、引き続き未買収地の取得を行っていく。買収した用地区域については、整備後の開設にこだわらず、樹林地公園として開設等も検討していく。また、火葬場建設に伴う市営馬場の移転が完了したため、合わせて公園区域の新規開設を検討する。土壌改良工事等維持管理事業については、春の秩父路を代表するスポットとなった「芝桜の丘」を適切に管理するため、引き続き単独事業として単発的に実施する。聖地公園については、平成27年度策定予定の墓園整備計画に則り事業を実施する。また、街区公園を含む各公園の遊具に老朽化が見られるようになったことから、公園施設の長寿命化計画を策定し、安全安心な公園整備を進めていく。以上の内容を、現在策定中の第二次秩父市総合振興計画(平成28年度～37年度)に反映させる。					

# 社会資本総合整備計画（都市公園）

計画の名称	1 秩父市憩いある都市公園の整備	交付対象	秩父市
計画の期間	平成23年度～平成26年度（4年間）		



整備計画地の現状(交通公園)



整備計画地の現状(仮駐車場)



1-A1-2  
都市公園事業(聖地公園)  
事業未実施



羊山北面(坂氷)用地買収  
3098.8m2

「芝桜の丘」用地買収 2889.7m2

1-A1-1  
都市公園事業(羊山公園)



「芝桜の丘」土壌改良 2191.5m2



「芝桜の丘」園路整備 1339m2



1-C-1  
羊山公園芝桜の丘整備事業  
(既設開設分)